



LCGTの文書管理のための 新しいシステム

2009/7/6(月) LCGT会議
東京大学宇宙線研究所
宮川 治、中谷 一郎



これまでのLCGTの文書管理

- ボランティア的に集めているいくつかの場所に散乱
- もしくは個人がどこにもアップせずに持っている
- 問題点
 - 情報の共有がされていないため、効率的なプロジェクト運用になっていない
 - アップできる人が限られているため、取りこぼしている文書が多い
 - 文書内を検索できない
 - 欲しい情報を探しにくい



目標

- 誰でも文書を簡単にアップロードできること
- 文書のバージョン管理も楽なこと
- 文書の種類が分けられること（プレゼン、技術文書、図面、マネージメント等）
- 各文書に一意の通し番号を振れること
- 各文書に著者、要約、キーワード等の付属情報を付けられること
- 公開文書と非公開文書を区別できること
- ICDというような、種類別に文書を一覧表示できること
- 文書内検索ができること



システムの選択

- Webサーバベースで前述の要求を満たすものは有料では数多くあるのだが、フリーではなかなか見つからない
- 最終的にFermi Laboで開発運用されているオープンソースのDocDBというサーバソフトをLCGT向けに改良
- 通常のWebアクセスのようなIDとパスワード入力で文書をアップロード可能
- しばらくはグループメンバーシップで運用
- 組織のメンバーシップがもっときちんと定義されてきたら、将来的には個々人にアカウントとパスワードを配布することも可能



開発の現状

- 基幹システムの開発はある程度完了、柏にあるMac mini上で「JGWDoc」として試験運用中
 - 開発:宮川、方針:中谷で検討中
 - 英語全文検索はできているが、日本語全文検索はまだ完成していないため、あとからアップグレードする予定
- 一部の人に公開しベータシステムのテスト中
 - コーディネーターを含む、各サブグループのリーダー、その他協力者で試験運用
- 公開用アドレス(文書のアップロードはできません)
 - <http://gw.icrr.u-tokyo.ac.jp:8888/cgi-bin/DocDB/DocumentDatabase>
 - 上記以外の方で文書のアップロードを含むベータテスト参加希望者は宮川までご連絡ください
- 今後一ヶ月程度テストを続け、問題を洗い出し、良ければ正式運用したい



LCGTのための基幹システム

- 各システムとその役割
 - ホームページ (<http://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/gr/gr.html>)
 - ニュース等の広報や、重要事項の表示、重要なリンクなど
 - ここ数年間更新した形跡がない
 - 早急なてこ入れが必要
 - メールングリスト (LCGTxxxx@icrr.u-tokyo.ac.jp)
 - LCGTまとめと、いくつかの各サブグループの連絡用に運用
 - 一部では盛んに運用されているが、一部ではあまり運用されずにいる
 - LCGT Wiki (<http://gw.icrr.u-tokyo.ac.jp:8888/JGWwiki/LCGT>)
 1. 文書にして固定してしまうと意味がなくなるような時々刻々と状況が変わる話(干渉計の現在の最適なパラメータとか)を記録する
 2. 現場のマニュアル的なこと
 3. 議論の場を提供すること
 4. 議論ごとにまとまった文書を探しやすい場の提供
 - 現状は、各サブグループの連絡や資料置き場として活用されている
 - JGWDoc (<http://gw.icrr.u-tokyo.ac.jp:8888/cgi-bin/DocDB/DocumentDatabase>)
 - 文書全般の保管、バージョン管理
 - svn
 - ソフトウェアのバージョン管理
 - 麻生氏指示のもと坪野研で試験運用中
 - まだほとんど広まっていない
- 現状は(ホームページと一部のML以外)正式に認められたものではないので、LCGTメンバーの同意を得て運用する必要がある